

詩を読んで、感想や考えをもち、 豊かに音読しよう

小学校 3年 国語
「詩を読もう」
読書指導

ねらい

- 好きな詩を決めて視写し、感想や考えを伝え合い、話し合ったことをもとに音読する。
- 詩を読んで理解したことにもとづいて、感想や考えをもつことができる。

学習展開

- ① 電子黒板の漢字フラッシュカード（読字）をする。
- ② めあてをもつ。
◎好きな詩を決めて視写し、感想や考えを伝え合い、話し合ったことをもとに音読する。
- ③ 変化のある繰り返して詩を一斉音読する。
「秋の七草」「紙ひこうき」
「夕日がせなかをおしてくる」
 - ・ 追い読み
 - ・ 交代読み
 - ・ たけのこ読み
 - ・ みんな読み
- ④ 詩を視写する。
 - ・ 好きな詩とそのわけを書く。
- ⑤ まとめの音読をする。
 - ・ 教科書の「紙ひこうき」「夕日がせなかをおしてくる」のうち、好きで選んだ詩を選んだみんなと音読する。



指導のポイント

- 導入「秋の七草」の詩は、桧水高原への校外学習において、秋の七草の画像で意識付け、体験活動に活かす。
- 「紙ひこうき」の詩の擬態語「ゆうらゆら」や「すうい」「くるり」の様子を思い浮かべ確認させる。「おうい」の声の大きさや感じをイメージさせる。間の取り方の効果について押さえる。
- 「夕日がせなかをおしてくる」の擬人法と繰り返しのおもしろさを押さえる。文末の力強さや親しみについて話題にする。連のまとまりを押さえる。

資料

『紙ひこうき』『夕日がせなかをおしてくる』3年上国語教科書
『話す聞くスキル 秋の七草』②正進社
『声に出して楽しく読もう』1年生・2年生・3年生・4年生 学研